

図書館レベルで注文明細と請求書の価格閾値と金額閾値を管理する

注文明細の価格閾値と請求額の閾値により、機関は注文明細/請求書のアラートをトリガーする注文明細/請求書の閾値を定義できます。例えば、システムで自動的（API/EOD）に作成された注文（注文明細）が、注文金額が100米ドル（または機関が定義した他のデフォルト通貨）を超えた場合に、ワークフローの進行を阻止したい場合、機関は 高水準価格を100に設定して、100米ドルを超える金額で作成された注文明細にアラートを追加することができます。

Almaには、図書館レベルでも管理できる注文明細と請求書の高水準価格の設定があります。以前は、高水準価格の設定は機関レベルのみ行うことができました。新しい設定では、機関レベルがデフォルトの高水準価格であることが維持されますが、図書館レベルで高水準価格を追加するオプションが追加されています。機関レベルと図書館レベルの両方で設定された値がある場合、Almaは注文明細/請求書の所有図書館をチェックし、所有図書館の新しい設定テーブル内にエントリがある場合、その値を使用します。特定の図書館のエントリがない場合、Almaは機関レベルで定義された値を使用します。

これは次の表で設定できます：

1. 注文明細の価格閾値 設定テーブル（[設定メニュー] -> [受入] -> [注文書]）：

- 高水準価格により、機関は、注文明細/請求書のアラートをトリガーする注文明細/請求書の閾値を定義できます。例えば、システムで自動的（API/EOD）に作成された注文（POライン）の金額が100米ドル（または機関が定義した他のデフォルト通貨）より高い場合、ワークフローの進行を阻止したい場合、機関は 高水準価格を100に設定して、100米ドルを超える金額で作成された注文明細にアラートを追加することができます。

Enabled	Library	PO Line Price	Updated By	Last Updated
1	Alma University	10000	admin1	15/04/2021

2. 請求額の閾値 設定テーブル（[設定メニュー] -> [受入] -> [請求書]）：

- 図書館レベルでも管理できる高水準価格の注文明細と請求書の設定。以前は、高水準価格の設定は機関レベルのみ行うことができました。新しい設定では、機関レベルがデフォルトの高水準価格であることが維持されますが、図書館レベルで高水準価格を追加するオプションが追加されています。機関レベルと図書館レベルの両方で設定された値がある場合、Almaは注文明細/請求書の所有図書館をチェックし、所有図書館の新しい設定テーブル内にエントリがある場合、その値を使用します。特定の図書館のエントリがない場合、Almaは機関レベルで定義された値を使用します。

Enabled	Library	Invoice Amount	Updated By	Last Updated
1	Alma University	2500	exl_mplj	18/05/2021

Note

請求書と注文明細の既存のCPは廃止され、機能していません。

-
- 機関がすでにCPの1つ内でカスタマイズされた値を持っている場合（[設定メニュー]->[受入]->[その他の設定]テーブル）、この値は新しい設定テーブルに自動的に共有されます。値をアップデートするには、新しい設定画面に移動します。
 - 機関によって値がカスタマイズされていない場合、デフォルト値（機関レベル）は次のようになります。
 - 請求書 = 2,500
 - 注文明細 = 10,000
-